

南アルプス：鳳凰三山

◆日程 2020年3月20日(金)～21日(土)

◆メンバー L：小山田、須田k、伊藤元、遠山

この3連休は山に行きたいと思い、もう一つ募集のあった新潟方面の企画と迷ったが、天気の良さそうな鳳凰三山企画へ参加表明をした。ところが直前の天気予報では風が強く荒れた天気になるとのことで、リーダーの小山田さんから参加は各自判断でとの連絡を受ける。天気図を見る限り大きく崩れるということはないと思ひ予定通りとし、リーダー小山田さん、須田さん、遠山さんと伊藤の4人で行くこととなった。

3月20日(金) 天候：晴れ

家を4:30少し前に出発し、須田さん、小山田さん、遠山さんの順にピックアップし、東名から圏央道を経由して中央道へ。双葉JCTから中部横断道へと分岐してすぐの白根ICで高速を降りた。夜叉神峠登山口駐車場まで順当にいて7:45着。

強風の前報で登山者は少ないのではないかと思われたが、駐車場には数十台ほどは車があったため、薬師岳小屋まで行けたとしても、避難小屋は埋まってしまっているのではないかと思われた。

登山口では山梨県警が行方不明者捜索への協力願いをしていると共に、山梨県の山岳遭難対策協議会(?)が「観音岳より先はアイゼンも刺さらないほどカリッカリに凍結していて危険だ」と、ほぼ「行くな」というニュアンスの注意喚起をしていた。

夜叉神峠登山口発。登山口から夜叉神峠までは一気に400mを登る急登。出だしから快調なペースで登っていく。

【写真1:夜叉神峠への急登】

夜叉神峠着。ここでアイゼンを装着して樹林帯の登山道を進む。ところどころ、一度溶けた雪が凍結して氷の板を作っていた。

杖立峠着。この案内板に「毎平2時間30分」と書かれているのを小山田さんが見て、それだと今日は薬師岳小屋までは行けないんじゃないか、という不安がよぎる。

毎平着。杖立峠から休憩入れて1:50と、ほぼ標準CTと同じペースで到着し、時間的には問題ないと安心した。

南御室小屋着。多くの登山者はここを宿営地としていた。冬季避難小屋はすでに一杯で、テントも10張り近く張られていた。

ここには冬季も凍らない湧水があるが、水はチョロチョロとしか出ておらず、また、角度的に縦に長い水筒では汲みづらく、汲んでいる人はシェラカップのようなもので汲んでいた。時間かかりそうなので、水を汲むのは諦めて先へと進む。

ここからまた急登。しばらく歩くと先行する女性二人組に出会う。その先に踏み跡はなくラッセルをしており、小屋がまだ空いている可能性が広がった。ここで気分が乗ったのか、小山田リーダーは直後の絶好の休憩ポイントをスルーし、ノンストップで薬師岳小屋へと向かう。



薬師岳小屋着。誰もいない冬季小屋に荷物をデポし、行けるうちに行っておこうということで薬師岳へ。

薬師岳着。白峰三山に掛かっていた雲もだいぶ晴れ、疲れを忘れさせる素晴らしい景色だった。

再び薬師岳小屋へ戻ってきて初日の山行は終了。



【:薬師岳から薬師岳小屋を望む】

避難小屋の床には分厚い断熱材の上に絨毯が敷かれており、一晚暖かく過ごせた。利用料1000円/人払う価値は十分ある。人数的にも我々4人と途中で出会った女性2人組の計6人でちょうどよかった。周辺に平らな場所がなくテントだったらやや苦勞しただろう。途中、樹林帯にテントを張っているグループもいた。



【:快適な冬季避難小屋】

夕食はキムチ鍋。遠山さんがただでさえ重い冬山装備に加え、キムチ2パックも持ってきてくれており、締めラーメンまで美味しくいただいた。(記:伊藤元)

CT: 夜叉神峠登山口 8:30 - 夜叉神峠 9:30 - 杖立峠 11:30 - 苺平-:13:20 - 南御室小屋 14:00 - 薬師岳小屋 15:45-薬師岳 16:25 -17:10 薬師岳小屋

3月21日(土) 天候:晴れ



【:薬師岳から観音岳へ】

観音岳着。ここまでで引き返す人も多かったが、天候は問題なかったため地藏岳へと向かう。登山口で散々脅された観音岳の北側斜面だが、特別凍結している様子はなかった。

薬師岳小屋発。寝袋など、一部荷物をデポし、薬師岳を超え観音岳へ向かう。多少の風はあったが、空には雲ひとつない天気。左手には白根三山、右手前方には八ヶ岳を見ながらの尾根歩きはとても気持ちよかった。



【:観音岳山頂】



【:強風を受けながら岩場を登る】

薬師岳小屋に戻って荷物をパッキングし、昨日来た道に戻っていく。長い下りではあるが、途中、風が凧いで春山での森林浴気分になったと思ったらまた風が出たりと、変化があつて楽しめた。16:45、夜叉神峠着。夜叉神峠からは昨日は雲に隠れていた白根三山が見事に見渡せた。



【賽の河原からオベリスクを背にして】

夜叉神峠登山口。下山後は温泉へ。最も近い金山温泉は冬季は営業していないため、通り沿いの白根桃源天笑閣を目指すがこのも営業しておらず、葦崎旭温泉へ。受付のお爺さんの愛想は良くないが、源泉かけ流しでぬるめの炭酸泉は、ゆっくりと泡を楽しみながら浸かると体の芯まで温まる。

高速に乗る途中で見つけたラーメン屋で腹を満たして帰路へ。20:30に葦崎ICから中央道に入ったが、行楽日和だったためか帰りは中央道、東名共に自然渋滞が発生していた。保土ヶ谷バイパスも渋滞していたため、途中で降り3人を送り届けて帰宅したのが0時過ぎ。

初日は標高1400m登り、2日目は強風の中雪の岩稜帯に行く、楽な山行ではなかったが、冬山ならではの美しい景色に癒やされ、鳳凰三山を踏破し達成感も味わえ、登山の魅力を凝縮したような山行であった。
(記:伊藤元)

CT: 薬師岳小屋 6:40 - 観音岳 7:20 - 鳳凰小屋分岐 8:00 - 地藏岳 9:10 薬師岳小屋 11:30 - 夜叉神峠登山口 - 17:40